

平成26年5月12日
＜町教研事務サークル＞

年次休暇残日数計算の自動化ソフト

乙部町立明和小学校
教頭 佐々木 朗

1 はじめに

以前は1日＝8時間で計算していたが、法令の改正により1日＝7時間45分で計算することになった。

年休を全て繰り越すとして、1月に40日でスタートするとし、1月に3時間の年次休暇を取ったとすると、40日＝39日＋7時間45分。ここから1時間を引いて、残日数が39日4時間45分になる。

さらに次の年次休暇で5時間を取ったとすると、39日4時間45分＝38日＋7時間45分＋4時間45分＝38日11時間90分＝38日12時間30分。ここから5時間を引いて、38日7時間30分になる。

こういう計算をすると、思うのが「繰り下がりがあるのか」という嘆きである。そこで、今回はエクセルを利用しながら、年休の自動計算について、考えて見た。

2. ソフトウェアの説明

(1)ユーザの入力

①日付、②年休日数、③年休開始時刻、④年休終了時刻、そして、年のはじめには繰り越し日数を入力する。

(2)プログラムの説明

①勤務時間の割り振りについて

長期休業中は、多くの場合、休憩が12時から12時45分になろう。そこで、sheet2にカレンダーを作り、日付を入れると、休憩時刻がお昼になるのか勤務時間終了直前になるのか自動的に判定するようにした。F列に休憩開始時刻、G列に休憩終了時刻をvlookup関数で入れるようにしたが、非表示としている。

②年休時間の判定

休憩時刻をはさんでいるか、はさんでいる場合は、その時間を除く判定、そして、分の端数は切り上げる判定、そして、7時間を超える年休は1日にするなどの判定をし、I行及びL行で表示した。非表示にしているJ列及びK列はその作業テーブルである。

③残日数の計算

残日数は、すべて時間に一度直して計算している。つまり40日は、パソコン内では、 40×7.75 で310時間として処理している。分についても15分については0.25というように小数処理をしている。ここから時間に直した（年休には原則分がつかない）年休時間（1日の場合は

ようにした。

3 今後に向けて

今後に向けて、年休開始時刻、終了時刻をリストから選ぶとか、日付をカレンダーから選ぶのをスマートにするとか、場合分けに長い if 文を使っているとか、まだまだ、ソフトウェアとしては改善点は考えられる。

今後もしよろしければ事務サークルの先生方に使っていただき、改善を進め、より使いやすいものにしながら、教育の情報化を進めていきたい。

	日	時	分
繰り越し	40	0	0

[illegible]